

高齢者・軽度認知障害者・認知症者およびケアする人に対する非薬物療法の実態/ニーズ調査研究（調査対象：施設入所者/通所リハビリテーション利用者）

調査趣旨

現在、わが国では高齢化に伴い認知症、およびその前段階のMCIの人が増加しています。そのため様々な施設で、これらの人の認知機能を少しでも維持するために非薬物療法（運動や認知機能訓練、食生活などの薬以外の方法）が実施されています。しかしどのような非薬物療法を、どのように実施されているのかについては広く調査されたことはありませんでした。そこで今回、公益社団法人全国老人保健施設協会に所属している施設のリハビリ専門職の方に、非薬物療法に関する調査を実施させていただくことになりました。なお、調査対象は「施設入所者」と「通所リハビリテーション利用者」としておりますので、各々についてご回答いただきますようお願い申し上げます。

具体的には、下記の「あなたの施設の以下のどちらかについて回答してください」の設問に対して、最初に「施設入所者」を選択して、老健施設での非薬物療法について回答し、最後に送信ボタンを押してください。その後、あらためて本アンケートサイトにアクセスしていただき、今度は「通所リハビリテーション利用者」を選択していただき、通所リハビリテーションでの非薬物療法について回答し、最後に送信ボタンを押してください。お手数ですが、何卒宜しくお願いいたします。

本調査は、今後の非薬物療法指針作成、および新たな非薬物療法の開発と普及の推進に役立てたいと思いますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

アンケートは10分程度で回答できる長さとなっています。本調査で回答いただく内容には、お名前や生年月日、連絡先などの個人情報は一切含まれません。回答は任意であり、ご協力いただけない場合でもあなたが何らかの不利益を被ることは一切ありません。

本アンケート調査は、日本医療研究開発機構の支援を受けた公的研究で、日本老年医学会、日本神経学会、日本精神神経学会等が協同し実施しています。

画面右上の「文字サイズの変更」から、文字サイズを読みやすい大きさに変更していただけます。

本アンケート調査への同意

- 同意する
 同意しない

あなたの施設の以下のどちらかについて回答してください。

- 施設入所者
 通所リハビリテーション利用者

ご回答いただくあなたについてお尋ねします。

現在の年齢

- 20～24歳
- 25～29歳
- 30～34歳
- 35～39歳
- 40～44歳
- 45～50歳
- 50～54歳
- 55～59歳
- 60～64歳
- 65～69歳
- 70歳以上

性別

- 男性
- 女性

最終学歴

- 中学校卒業
- 高等学校卒業
- 専門学校・短期大学卒業
- 大学・大学院卒業

あなたの所属施設（組織）・部署についてお尋ねします。**施設（組織）の所在地（都道府県）**

- 北海道
- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- 新潟県
- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 山梨県
- 長野県
- 岐阜県
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 兵庫県
- 奈良県
- 和歌山県
- 鳥取県
- 島根県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 高知県
- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県
- 大分県
- 宮崎県
- 鹿児島県
- 沖縄県

施設（組織）の所在区分

- 大都市（東京23区・政令指定都市）
- 中都市（人口10万人以上）
- 小都市（人口10万人未満）
- 町村

あなたの施設の入所リハビリテーションを利用している人の概数を実人数でお答えください。

- 29人以下
- 30～59人
- 60～99人
- 100人以上
- 不明・わからない

あなたの施設で入所リハビリテーションを担当しているリハビリ専門職の人の概数を実人数でお答えください。
通所リハビリと兼務している場合は、各々1人とカウントして下さい。

- 5人以下
- 5～10人未満
- 10～15人未満
- 15～20人未満
- 20～30人未満
- 30人以上

あなたの施設の通所リハビリテーションを利用している人の概数を実人数でお答えください。

- 29人以下
- 30～59人
- 60～99人
- 100人以上
- 不明・わからない

あなたの施設で通所リハビリテーションを担当しているリハビリ専門職の人の概数を実人数でお答えください。
入所リハビリと兼務している場合は、各々1人とカウントして下さい。

- 5人以下
- 5～10人未満
- 10～15人未満
- 15～20人未満
- 20～30人未満
- 30人以上

実態調査

ここからあなたの施設（組織）での非薬物療法についてお尋ねします。

非薬物療法とは、薬を用いない治療的なアプローチ全般を指します。認知症や軽度認知障害の人には、認知機能の低下予防や改善を目的として実施される認知トレーニングや運動療法などがあります。

あなたの施設や組織では非薬物療法を実施していますか？

- 実施している
 実施していない

どのような方を対象に非薬物療法を提供していますか？（複数回答可）

- 物忘れがなく、認知機能が正常な方
 軽度認知障害（MCI）段階の方など、軽度の物忘れがある方
 認知症の診断を受けている方、認知機能低下のため日常生活に支援が必要な方

非薬物療法の対象としている方の要介護度をお答えください。（複数回答可）

- 要支援1
 要支援2
 要介護1
 要介護2
 要介護3
 要介護4
 要介護5

あなたの施設などでは以下の非薬物療法を実施していますか？

実施している非薬物療法の頻度や時間が利用者によって多様である場合もあると思います。そのような場合、最も多くの方に実施している頻度、時間、期間などをご回答ください。

【有酸素運動】

筋肉を動かすのに酸素を必要とするウォーキング、ジョギング、エアロビクス、サイクリング、水泳等の、ある程度の時間、中程度の負荷をかけて行う運動。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【バランス協調運動】

運動療法の中でも、バランス訓練や協調性に注目した運動。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【体操やストレッチ】

筋肉を伸ばしたりすることで筋肉や関節の柔軟性を高め、怪我の予防やリハビリ・疲労回復を目指す運動。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【筋力運動】

筋肉トレーニングなどにより筋肉量の保持を図り、フレイル予防などを目指す運動。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【認知機能訓練（パズル系）】

パズル系の課題を、紙面やパソコン、スマホアプリなどを用いて行い、脳の認知機能（記憶、判断、計算など）の維持・向上を目指す訓練。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【認知機能訓練（クイズ系）】

クイズ系の課題を、紙面やパソコン、スマホアプリなどを用いて行い、脳の認知機能（記憶、判断、計算など）の維持・向上を目指す訓練。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【認知機能訓練（記憶力系）】

記憶力系の課題を、紙面やパソコン、スマホアプリなどを用いて行い、脳の認知機能（記憶、判断、計算など）の維持・向上を目指す訓練。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【認知機能訓練（計算系）】

計算系の課題を、紙面やパソコン、スマホアプリなどを用いて行い、脳の認知機能（記憶、判断、計算など）の維持・向上を目指す訓練。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【デュアルタスク（二重課題・同時課題）】

運動と認知機能訓練を同時に行うなど、2つ以上の作業を同時に行うことで認知刺激を期待する療法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【回想法】

昔の懐かしい写真や音楽、昔使って馴染み深い家庭用品などを見たり、触れたりしながら、昔の経験や思い出を語りあい、心の安定や認知機能改善などを旨とする療法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【リアリティー・オリエンテーション（RO）・現実見当識訓練】

名前や年齢、時間、場所、日時、人物名や物の名称など、繰り返し質問することで現実への認識を深めることを目的とした、認知症の見当識や記憶力などの改善をはかる訓練。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【園芸療法】

中庭等で野菜や花を植えたりする園芸を通して、感情の安定や自発性の改善を期待する療法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【絵画療法】

芸術療法の1つで、絵画を通じた表現や創造活動により、不安を解消したり、感情を解放したりすることを目指した療法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【音楽療法】

音楽の持つ特性を活用し、音楽を聴く、歌う、打楽器などの演奏、リズム運動などを通して、健康の維持や心身の障害の機能回復、生活の質の向上、問題行動の改善などを目指す療法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【動物介在療法（アニマルセラピー）】

動物と触れ合うことで、ストレスの緩和、癒し効果などの精神的な落ち着き、活動性の向上を目指す療法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【アロマセラピー】

植物の花や葉、樹皮などから抽出された芳香成分を含む精油の香りを嗅ぐことで脳への刺激を促し、不安や興奮状態、睡眠障害などの症状の改善を期待する療法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【化粧療法】

化粧をすることを通して、脳の活性化、抑うつや不安などの精神面の改善、握力などの身体能力の向上を目指す療法

。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【タクティールケア】

体に直接触れることで体の感覚を思い出し、信頼感・安心感を生み出し、自己意識の向上、身体的・精神的な症状を和らげることを期待する療法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【光療法】

光を用いたアプローチで、強い光を一定の時間で照射することで、睡眠や覚醒のサイクルを整える療法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【鍼治療】

鍼刺激の脳機能への効果、リラクゼーション効果により認知機能の改善を期待する療法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【複数からなる包括的介入】

運動や認知トレーニング、栄養指導、心理療法など複数の療法を包括的に取り入れ、認知機能の維持・改善を目指す方法。組み合わせは治療者や実施するニーズに合わせて行われ、様々な組み合わせがある。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【ゲーム機の活用（デジタルデバイスを用いたゲームも含む）】

パチンコやモグラ叩きゲーム、桌上ゲームなどを用いて（デジタルデバイスを用いたゲームを含む）認知機能低下予防を目指す方法。

- 実施している
- 実施していない
- 過去に実施していたがやめた

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

【上記の他に実施している非薬物療法があればご記入ください。】

どのくらいの頻度でおこなっていますか？

- 毎日
- 週2～6日
- 週1回～2週間に1回
- 2週間に1回未満～1ヶ月に1回
- 1ヶ月に1回未満

1回の実施時間はどれくらいですか？

- 10分未満
- 10～29分
- 30～59分
- 1時間以上

どのように実施していますか？

- 利用者ごとに個別に実施
- 集団で実施

実施しなくなった非薬物療法がある方にお伺いします。
その非薬物療法を実施しなくなった理由をお聞かせください。（複数回答可）

- お金がかかった
- 時間がかかった
- 人員が確保できなかった
- 場所を確保できなかった
- 効果を実感できなかった
- 内容が難しかった
- その他

その他（自由記載）

非薬物療法にどのような効果を期待していましたか？（複数回答可）

- 認知機能の維持・向上
- 行動・心理症状の改善
- 体力（身体活動）の維持・向上
- 他者との交流機会の確保や利用者の楽しみを設ける
- 意欲が出る、会話や行動が増える

非薬物療法を実施していない理由をお聞かせください。（複数回答可）

- お金がかかる（かかりそう）
- 時間がかかる（かかりそう）
- 実施する人が確保できない
- 実施する場所を確保できない
- 効果が乏しい印象を持っている
- 内容ややり方が分からない、難しい
- 非薬物療法に興味がない
- その他

その他（自由記載）

施設（組織）で非薬物療法を実施し始めたきっかけは何ですか？（複数回答可）

- 利用者の認知機能の維持・向上のため
- 利用者の行動・心理症状の改善のため
- 利用者の体力（身体活動）の維持・向上のため
- 他者との交流機会の確保や利用者の楽しみを設けるため
- 施設の特徴をつくるため
- その他

その他（自由記載）

施設（組織）で「実施している」と回答した非薬物療法を選択した理由は何ですか？（複数回答可）

- お金がかからず始められるから
- 実施時間の長さが丁度良いから
- 必要な人員を確保しやすいから
- 実施場所を確保しやすい、場所を選ばないから
- 効果を実感しやすい、有効性が高いと思うから
- 取り入れやすい内容、安全に行える内容だから
- その他

その他（自由記載）

施設（組織）で実施している非薬物療法をどこで知りましたか？（複数選択可）

- マスメディア（新聞・雑誌・テレビ・ラジオ）
- 市民公開講座、地域の勉強会など
- 医師・看護師・療法士などの医療職からの情報提供
- ケアマネジャー、介護職などの介護・施設職員からの情報提供
- 市町村役場など公的機関（ポスター掲示、ホームページへの掲載）
- 施設でもともと導入されていた
- その他

その他（自由記載）

施設（組織）で非薬物療法を実践している目的を教えてください。（複数回答可）

- 利用者の認知機能の維持・向上のため
- 利用者の行動・心理症状の改善のため
- 利用者の体力（身体活動）の維持・向上のため
- 他者との交流機会の確保や利用者の楽しみを設けるため
- その他

その他（自由記載）

実施している非薬物療法の効果をどの程度感じていますか？（回答者の印象でお答えください）

- とても感じている
- まあまあ感じている
- あまり感じていない
- 全く感じていない

利用者の認知機能の維持・向上に効果があったと感じますか？

- はい
- いいえ

利用者の行動・心理症状（幻覚、妄想、怒りっぽさ、イライラなど）の改善に効果があったと感じますか？

- はい
- いいえ

利用者の体力（身体活動）の維持・向上に効果があったと感じますか？

- はい
 いいえ

利用者の意欲が出てきた、会話や行動が増えたと感じますか？

- はい
 いいえ

その他に感じている利用者への効果があれば記載してください。

非薬物療法の効果を判定するために評価や検査を行っていますか？

- はい
 いいえ

効果の評価方法・判定方法について教えてください。（複数回答可）

- 利用者の見た目（表情など）
 認知機能検査（HDS-R、MMSEなど）
 行動・心理状態の評価（NPI、Behave-ADなど）
 日常生活活動の評価（手段的ADL、Barthel Indexなど）
 その他

その他（評価方法・判定方法）

あなたの施設や組織で、非薬物療法を中断する人の割合はどの程度いますか？

- ほとんどいない
 1～2割程度
 半分程度
 ほとんど続かない

実施している非薬物療法について、認知症・認知機能低下に対する満足度はどの程度ですか？（回答者の印象でお答えください）

- とても満足している
 まあまあ満足している
 あまり満足していない
 全く満足していない

実施している非薬物療法の目的について、利用者やご家族に説明をしていますか？

- している
 していない
 ケースバイケース

どのような形式で説明をしましたか？（複数回答可）

- 看護師、療法士、ケアスタッフから口頭で
 ノートや手帳・経過用紙で
 パソコンやパネルを用いて

実施している非薬物療法の効果や影響、有効性について、利用者やご家族に説明をしていますか？

- している
- していない
- ケースバイケース

どのような形式で説明をしましたか？（複数回答可）

- 看護師、療法士、ケアスタッフから口頭で
- ノートや手帳・経過用紙で
- パソコンやパネルを用いて

実施している非薬物療法について、課題と感ずることはどんなことですか？（複数回答可）

- お金がかかる
- 時間がかかる
- 人手がかかる
- 実施場所の確保が必要
- 効果が明確にわからない
- 内容ややり方が難しい、技術習得が必要
- 安全性の確保が難しい、安全性がわからない
- その他

その他（自由記載）

実態調査

ここからは、非薬物療法とデジタルデバイスについてお尋ねします。

ウェアラブルデバイスとは、腕時計型やリストバンド型などの、歩数や心拍数、移動距離、睡眠時間等を記録するデバイス（スマートウォッチ、スマートリング等）を指します。

あなたの施設や組織では、スマホ/タブレット、パソコン（デスクトップ型・ノート型）、ウェアラブルデバイス（スマートウォッチ、スマートリング等）を日常業務で活用していますか？

- している
- していない

スマホ/タブレット、パソコン、ウェアラブルデバイスを施設や組織における非薬物療法として使用していますか？

- している
- していない

デジタルデバイスを非薬物療法として使用する場合の 利点 についてお聞かせください。（複数回答可）

- 楽しめる
- 治療が継続できる
- 効果がわかりやすい
- デバイスから連絡がくる
- その他

その他（自由記載）

デジタルデバイスを非薬物療法として使用する場合の 欠点 についてお聞かせください。（複数回答可）

- 音がうるさい
- 操作が難しい、面倒くさい
- 機器代や通信費などの費用がかかる
- データ管理（紛失や個人情報の漏洩など）が気になる
- その他

その他（自由記載）

スマホ/タブレット、パソコン、ウェアラブルデバイスを非薬物療法として使用していない理由をお聞かせください。（複数回答可）

- 操作が難しい
- 興味がない、面倒くさい
- デジタルデバイスについて知らない
- 機器代や通信費などの費用がかかる
- データ管理が気になる（紛失や個人情報の漏洩など）
- その他

その他（自由記載）

現在実施している非薬物療法のほかに、新たに実施してみたい非薬物療法はありますか？

- はい
 いいえ

今後、非薬物療法を実施してみたいと思いますか？

- はい
 いいえ

以下の中で、これから実施してみたい非薬物療法を選択してください。（複数回答可）

- 有酸素運動
 バランス協調運動
 体操やストレッチ
 筋力運動
 認知機能訓練（パズル系）
 認知機能訓練（クイズ系）
 認知機能訓練（記憶力系）
 認知機能訓練（計算系）
 デュアルタスク（二重課題・同時課題）
 回想法
 リアリティー・オリエンテーション（RO）・現実見当識訓練
 園芸療法
 絵画療法
 音楽療法
 動物介護療法（アニマルセラピー）
 アロマセラピー
 化粧療法
 タクティールケア
 光療法
 鍼治療
 複数からなる包括的介入
 ゲーム機の活用（デジタルデバイスを用いたゲームも含む）

新しい非薬物療法が開発された場合、どのような点に興味・関心がありますか？（複数回答可）

- 効果
 費用
 実施に必要な時間
 必要な人員（人数、職種）
 実施場所、必要スペース
 内容（取り入れやすさ）
 安全性
 対象者（認知機能の状態）
 その他

その他（自由記載）

非薬物療法としてデジタルデバイスを活用したいと思いますか？

- はい
 いいえ

非薬物療法として活用したいデジタルデバイスをお選びください。（複数回答可）

- スマホ/タブレット
- パソコン（デスクトップ型・ノート型）
- ウェアラブルデバイス（スマートウォッチ、スマートリング等）

スマホ/タブレット、パソコン、ウェアラブルデバイスを活用した非薬物療法にどのような効果を期待しますか？（複数回答可）

- 認知機能の維持・向上
- 行動・心理症状の改善
- 体力（身体活動）の維持・向上
- 他者との交流の機会、日常生活の楽しみとなる
- 非薬物療法の効果が増す
- 非薬物療法を続けやすくなる
- その他

その他（自由記載）

非薬物療法全般に対する期待など何でもお聞かせください。（自由記載）

有効性の高い非薬物療法が開発された場合、どのように広報すれば、必要な人に届きやすいと思いますか？（複数回答可）

- マスメディア（新聞・雑誌・テレビ・ラジオ）
- インターネット上の広告
- 市民公開講座、地域の勉強会など
- 医師・看護師・療法士などの医療職からの情報提供
- ケアマネジャー、介護職などの介護・施設職員からの情報提供
- 市町村役場など公的機関（ポスター掲示、ホームページへの掲載）
- その他

その他（自由記載）

質問は以上です。調査にご協力ありがとうございました。